令和３年度　学校法人鴨下学園 栗島幼稚園 園だより（6月号）　令和３年６月２日（水）発行

くりしま

《本園の教育目標》
○元気がある　○自分のことは自分でする
○仲良く遊ぶ　○ものごとに興味・関心をもつ
○思ったことを話し、人の話を聞く
○体験や考えに感動する　○工夫して表現する

《栗島幼稚園ホームページ》 栗島幼稚園 検索

『 好奇心と熱意 』

～新型コロナウイルスのワクチン開発者のことば～

園長　矢田 泰久

『賢い人（賢者）は歴史に学び、…』という名言があります。自分では経験できないこと、到底たどりつけないことでも、先人たちはたくさん成し遂げてきました。ただ、ほとんどのことは失敗と挫折の繰り返しです。それゆえ、これまで積み重ねられた知見など、その歴史を学ぶことで私たちはたくさんの宝物を得ることができます。

ご案内のとおり、新型コロナウイルスの感染拡大の収束の光明（切り札）として、発症や重症化を防ぐ mRNA ワクチンの接種が日本でも医療従事者・高齢者からはじまりました。足立区内でも順次進められています。子どもたちを取り巻く環境が一日も早く安全・安心、そして快適な状態になるよう切に願っています。

さて、このワクチン開発の立役者であるハンガリー出身のカタリン・カリコ博士は、先日NHK のインタビューで「このワクチン開発にはこれまでたくさんの方の知見がありました。歴史の積み重ねがあったからこそ成し遂げられた成果です。」「私を『ヒーローだ』という人もいますが、本当のヒーローは医療従事者や清掃作業にあたる人たちなど感染のおそれがある最前線で働く人たちです。」と述べました。博士の謙虚さと絶えなき好奇心や熱き情熱に心打たれました。先人の英知を土台に多くの人の命を救う尊い成果となっています。

園の子どもたちも生を受けてから、現在に至るまでその歴史を積み上げています。パンデミック（感染症の世界的大流行）下であろうとなかろうと、その営みは連続し様々な体験すべてが貴重な成長の糧です。保護者をはじめとするご家族の皆様のゆりかごの中で、これからも知恵を身に付け、たくましく生きる力を習得し、これからの未来を創り出してくれることでしょう。博士の好奇心と熱意、そして謙虚さは、子どもたちの成長の道しるべです。

５月も子どもたちは日々の保育や正課、種まきや園外保育（年長四季亭・東部給食センター見学）の活動を通して成長しています。7 日にまいたアサガオの種（年少・中）もインゲンの種（年長）も同様に発芽し順調に育っています。

＜年中：種まき＞　**＜年少・中のアサガオ＞**　**＜年長のインゲン＞**　**＜砂場に砂2㎥が入りました＞**

年少組：泣く子も減り笑顔がたくさん見られようになっています。生長したアサガオから「何色のお花が咲くかな？」と楽しみにし、はさみやのりの使い方も頑張っています。

年中組：アサガオの開花を楽しみに水やり当番が毎日交代で頑張っています。ピアニカの演奏も頑張っています。

年長組：発芽したインゲン、水やり当番が頑張っています。ドッジボール・迷路づくりが今学年のブームです。

＜年少：製作＞

＜年長：ピアニカ＞

＜年中：体操＞

＜年長：四季亭・東部給食センター見学＞

ところで、6月雨の時節を迎えました。第三日曜日の父の日が来るたびに私は思い出すことがあります。母の日同様、父親への感謝のひと時であるとともに「父親の涙」です。有名なギタリストエリック・クラプトン氏（曲「天国の涙」）やゴスペルシンガー岩渕まこと氏（曲「父の涙」）は我が子を亡くし曲を創りました。また、私が以前勤務した院内学級（病気入院中の6歳～18歳児への教育機関）で出会ったお父さんたちも、同様に愛する子を亡くし、辛く悲しく涙する姿をたくさん見ました。

愛する子を亡くした父親の心情の詳細はむろん当事者でしかわかり知り得ないことです。ただ、あえてそばにいた者として思いをはせることを許していただけるならば、我が子の死、そこに至るまでの痛みや苦しみはどれほどのものであったか。代わってあげたい。でもそれは叶わなかい。そんな虚無感や絶望感、たくさんの葛藤で苦しみもがき、時には罪悪感を覚えたことでしょう。心身共に憔悴しきった姿、耐えて涙する姿はただただ辛いものでした。鎮魂の意味で話題に取り上げたことをお許しください。お父さんにありがとう！のことばを伝えましょう。

【 6月の主な行事 】

1日（火）年長スイミング①
2日（水）456月誕生日会
8日（火）個人面談開始
15日（火）年長スイミング②
18日（金）全園児農業体験
29日（火）年長スイミング修了

＜年少、体操「よーい、ドン」＞

＜年長、製作＞

結びに、6月20日まで緊急事態宣言が再延長 (4度目) されました。しかし、お知らせしました通り園では新型コロナウイルスの感染拡大防止策の徹底を図り、行事は実施します。

引き続き、皆様のご理解・ご協力をお願い申し上げます。